

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 29 年度

市町村名	川口市		
提案事業名	外国人技能実習生地域コミュニティ創生事業		
事業期間	28 年度	～	28 年度
事業の必要性、目的	外国人技能実習生は入管法に基づき実施されている「外国人技能実習制度」のもとで来日し就労している。本市では、市を代表する鑄物産業等の中小企業団体が実習生受入れ団体として制度開始初期から活動しており、当制度の主目的である「開発途上国への技術移転」に大きく貢献している。 また、本市は県内で最も外国人住民が多い自治体であり、平成24年に策定した「川口市多文化共生指針」に基づき、外国人住民にもまちづくりに主体的に参加してもらうための取り組みをさまざま実施してきたところであり、外国人技能実習生は、今後、多文化共生社会を推進していくための核となり得る存在である。平成28年度に外国人技能実習生の新たな宿泊施設が建設されることに伴い、施設の一部のスペースを地域との交流を図るための「地域コミュニティの場」とし、地域とともに利用できるよう整備するものである。		
成 果 指 標	(成果を検証する指標)		
	地域との交流会開催回数		
	(成果検証の具体的な方法)		
	宿泊施設の一部スペースを利用した地域との交流会の開催を企画し、開催する。		
	(上記の指標を設定した理由)		
	外国人技能実習生にも多文化共生のまちづくりに主体的に参加してもらうための第一歩として、地域との交流を重ねることが重要であり、適切と考えたため。		
	(成果の目標値)		
現状値 (28年1月現在)		0回	目標値 (30年3月時点)
			6回
(施設建設等の場合)			
年間利用者数(目標)(人)		300人	稼働率(目標)(%)
住民への公表方法 及び特記事項		市の広報誌・掲示板等	

【成果指標と構成事業の関連性】

平成28年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 外国人技能実習生地域コミュニティ創生補助事業	新たに建設される外国人技能実習生宿泊施設の一部スペースを「地域コミュニティの場」として利用できるよう整備費の一部を補助するもの。地域コミュニティ向上の達成度を検証するための指標として、宿泊施設完成後に実施する交流会の開催回数を成果指標とする。	43,204
② 外国人技能実習生宿泊施設建設費補助事業	市内中小企業団体等が行う外国人技能実習生宿泊施設の建設に対し、経費の一部を補助するもの。	383,396
③		
④		
⑤		
⑥		
合計		426,600

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	多文化共生社会実現に対する市の取り組みや姿勢を地域住民や実習生にPRしていく。
成果指標の達成見込み	魅力的な交流会の実施と効果的な広報の実施により、成果指標の達成は可能である。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、
事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。